

## 官民のパートナーシップで支える 子どもたちの環境活動「こどもエコクラブ」

公益財団法人 日本環境協会

約40年前、日本では大気汚染や水質汚濁、騒音などの公害問題が続き、世界では熱帯林の伐採、酸性雨、砂漠化などの問題が深刻化していました。国民の皆さんの「環境についてもっと知りたい」「環境のために何かしたい」という思いに応えるため、1977年に日本環境協会が設立されました。協会では、環境問題や環境保全についての理解を深め、積極的に環境保全活動に参加する人や企業が増えるよう、人材育成、環境教育、環境にやさしい商品の普及に取り組んでいます。

その活動の一つとして、「こどもエコクラブ」があります。同クラブは、地域の環境保全活動の環を広げることを目的とした子どもたちの環境活動・学習の組織で、これまで約200万人の子どもたちが活動を行ってきました。2011年度に環境省から協会が引き継いだ事業ですが、地域の活動支援を地方自治体をお願いするとともに、企業等から協賛をいただき、官民パートナーシップ型の事業として実施しています。協力事例としては、残高に応じてこどもエコクラブに寄付いただく預金商品を作ってくださった銀行もあります。

「こどもエコクラブ」のメインイベントは毎年3月に開催する全国フェスティバルです。1年間の活動をまとめた各クラブの壁新聞や絵日記を環境教育や野外活動の識者が審査して、フェスティバルに参加する都道府県の代表クラブや環境大臣賞などの特別賞受賞クラブを選定します。当日は、代表クラブの子どもたちが活動を発表して交流を深めるほか、企業や団体が出展するブースで最新の環境技術などについて学ぶことができます。中には、再生可能エネルギー事業への融資などを例に、環境保全と金融という難しいテーマをわかりやすくご紹介いただいた銀行がありました。ブースで熱心に子どもたちに語りかける企業・団体の方を見ていると、次世代が安心して暮らすことのできる社会のために真剣に取り組む企業や団体が増えていることを実感します。

これからも、未来をつくる子どもたちのために、皆さんと協力して子どもたちの環境活動を盛り立てていきたいと考えています。

こどもエコクラブウェブサイト <http://www.j-ecoclub.jp/>



子どもたちの生き生きとした日頃の活動の様子と  
全国フェスティバルに集まったこどもエコクラブメンバー